

佐伯城跡 雄池の調査

石垣の発見

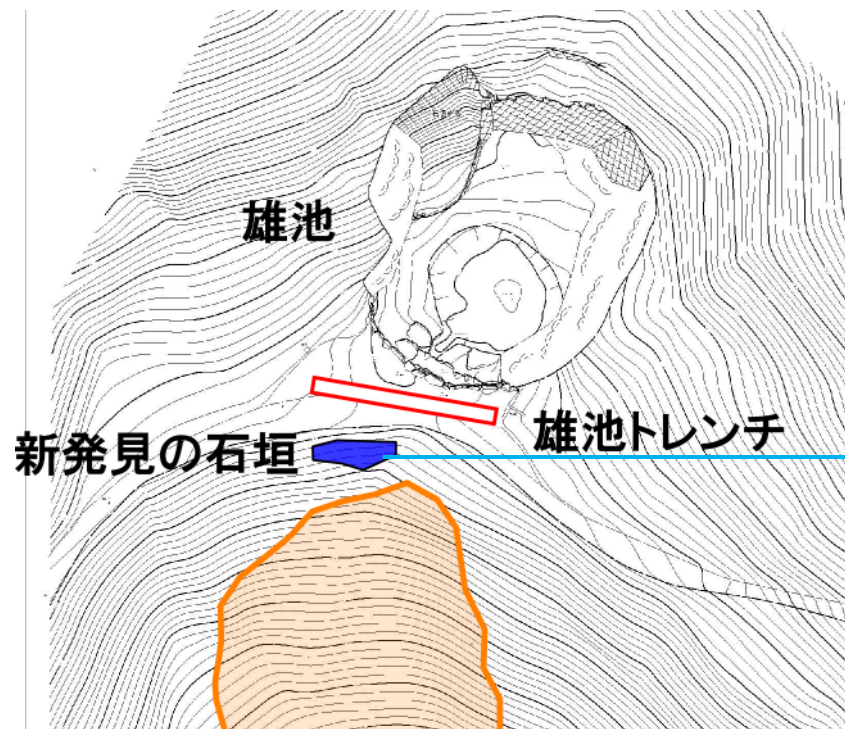
平成 28 年の台風 16 号では、雄池本体への被害はありませんでしたが、崩れた斜面の養生のため、雄池の周囲はブルーシートで覆っていました。

平成 29 年 10 月、シートの張り替え作業中に、これまでに知られていない石垣を発見しました。急な斜面にあり、草に覆われていたため、これまで知られていませんでした。

この石垣について、佐伯城跡調査指導委員会で指導を受けたところ、「雄池の水位を調整する施設の石垣だと考えられる。雄池と雌池が取水源だけでなく、治山や治水の機能も持っていた可能性がある。」との見解でした。



現在の雄池のようす



新発見の石垣と確認調査位置図

雄池の確認調査

新しく見つかった石垣の構造を確認し、その機能を明らかにするため、石垣背面の土手にトレンチ（試掘坑）を設け、確認調査を実施しました。



新発見の石垣（正面から撮影）

確認調査の成果



雄池トレンチの調査状況

調査の結果、以下のことが分かりました。

- 1) 雄池前面の土手は、人の手による盛り土で造られている
- 2) 石垣の背面には、地中に目の粗い砂利層がある

今回の調査によって、石垣の背後に砂利層を確認することができました。土に比べて隙間の多い砂利層が、地下で水を流す機能を果たしていたことが考えられます。

今後も様々な分野の専門家の方々から指導を受け、佐伯城の保護と実態解明に努めていきます。

【調査に関する問い合わせ先】
佐伯市教育委員会 社会教育課
電話 0972-22-4234